

管轄、任務

0318

紙
所
厚

寫

軍務局

佐鎮第二七五號ノ二

大正二年四月十七日

佐世保鎮守府司令長官島村 連
海軍大臣男爵齋藤 實員殿

佐世保鎮守府印

保管船舟(附屬)度件

佐世保水雷隊ニ於テ運信其他事務上旗艦
汽艇ノシニテ不便不敷ニ付元軍艦銘右ノ汽艇
納ラ受ケ目下當港務部ニ於テ保管中汽艇
一隻ヲ此際同隊ニ附屬セシメ度候条御認許相
成度
右上申又

官房第二一二三號

海軍

終

(花崎納)

0319

艦船
兵器

本件ハ
但書
置カレ
候余一
度

供覽
附部
艦務部
四

大正二年四月廿

軍

終

務上旗艦
於右ヨリ還
中汽艇
認許相

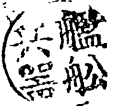
村



(花崎納)



0319



田丸

本件、明治三十五年達第令三號第條
但書ノ範圍内ニ於テ長官限リ處理シ
置ケルノ適當ト認メテ御詮議不相成
候条一應及返戻候也

大正二年四月廿九日返却

木村

供覽 (財部)

艦隊部 (果)

軍務局 (軍務)

海軍省副官 (森)

- 第一節 (築)
- 第二節 (福)
- 第三節 (山)
- 第四節 (山)
- 第五節 (山)
- 第六節 (山)
- 第七節 (山)
- 第八節 (山)
- 第九節 (山)
- 第十節 (山)
- 第十一節 (山)
- 第十二節 (山)
- 第十三節 (山)
- 第十四節 (山)
- 第十五節 (山)
- 第十六節 (山)
- 第十七節 (山)
- 第十八節 (山)
- 第十九節 (山)
- 第二十節 (山)

0320

號一第紙單案起

明治二十二年四月廿九日起案

起案日

猪山

五月七日發行

猪山

猪山

控案

監政本部

第三部長

福田

部員

猪山

大臣

副官

第一部長

猪山

次官

參事官

第二部長

猪山

會計課長

軍務局長

局員

經理局長

勝

局員

猪山

猪山

猪山

猪山

猪山

大正二年申五月七。海軍大臣
徳海善尔三九一号上申カクナリ
府一箇五斗左、用下心得入

發送

官房第六一號、二

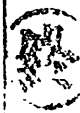
毎頁

官房接展

0321

一 佐世保海軍港務部係官、系々
 軍艦、銃、砲、還納、二十八、吹、カ、チ、リ
 二 隻、ヨ、護、海、防、備、隊、附、屬、リ、ム

と、稱、す、に、由、り、す



0322

雜役船舩種類及定數表

昭和四年内令二二号
中樞部
海軍

カッター	現行定數				
舩種	附屬廳				
三十噸カッター	一	大	投		
二十噸カッター	一	中	隊		
		馬	隊		
		旅			
		小	隊		
		大	隊		

(花崎港)

0323

艦政本部

一月廿四日

第三會計

軍務局

經理局長

官房第

大正六年十二月廿四日

港務部

海軍大臣野澤齋藤

鎮海防務員官山田

カッター四隻附属相成度件

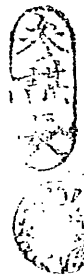
當港内、天候及地形、頗ル端舟、帆走及橈漕ニ適スルヲ以テ本務ニ
 属シ教育訓練實施、余暇端舟運用、教練ヲ行ヒ運用術、技
 能ヲ練磨セムルト今時ニ時々端舟競争ヲ爲サシメ兵員、競争心
 ヲ鼓舞シ士氣ヲ振作スル他ニ競争部隊ヲ有セラル當隊ノ如キモ
 一ニ在テ特ニ精神教育上極多其必要ヲ認ムルトヨク是附近ニ所
 要ノ「カッター」ヲ貸與スル部隊ナク極多不便ヲ感シ居候條是
 數目下ニカッター一、定數ナルモ未ダ附属サレテ入テ三〇呎着々ハ二八呎
 四隻ニ増加、上附属相成度

號 警備局員

景之

一母

軍



三九一



検査官

造船部



受付十二月廿七日

北村

0325

紙 箋 附

0324



大正二年
 海軍
 市村カッター
 可保度
 追テ
 二十八

二七ノ二
二月廿七日
北村

印

印

以テ本務ニ

運術、技

兵員、競争心

ル當隊、如キモ

口ナレ先附近ニ所

居候條是

口吹着々ハ二八吹

置

二月九日
陸軍部

414
0324
陸軍部

0325

紙 箋 附

大正二年四月四日

海軍省軍務局

海軍艦政本部御 中

本味カッターニ隻附屬ノコトニ取計

ヲ得度

追テ各般除籍ヨリセタル旧軍艦鈴若搭載
ニ十八吹カッターニ着友ナキ見込ニ候

陸軍部
印

右上申



二箇又方ノホト外じつトハ大正三年分ニ
連投ノ下ニ臨時通条都々居候ニ
切付ス



0326

起案郵紙

大正

大正二年二月五日

起案者 陸印

二月五日

日發付 發付掛 陸印

發付後起 案者陸印

四 10

(主務)

軍務局長

局員

大臣

次官

參事官

副官

人事局長

經理局長

總政次部長

軍令部長

次長

大正二年二月五日

横濱支局長

工部局局長

工部局局長 東丸 浦南 松島 及 甚

番官房第 四九〇 號

局部	受月日	發月日	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	橋建	水路	軍令
					三	七	三	八				三
												二
												二
												二

0327

27 2.50

101

成
予
定
三
初
ノ
成
成
東
大
ノ
支
度

方面之田賦之專測員之從事セシメ測量事業之関
シテい水部部長持揮ヲ受ケムヘシ

右訓令ニ
基テ同成連之同航行動ヲ豫定之報告スル

(印)

大正三年二月十九日

大五

水部部長 松平 大五郎
基テ同成連 馬場 大五郎

本件關シ別紙ノ通知ヲ付スル事アリ
心付己
右

右

(印)

(印)



自六月一日		測地航行	台湾方面鐘測ニ従事
至六月廿五日		基隆	淡水糧食補充
自六月廿六日		備考、 天候其他ノ都合ニ依リ予定ヲ変更スルコト アルニシ	
至六月卅日			

六月中南東丸測量任務行動予定表

月日 所在地 行動

海軍

水部ニ付
六月廿五日

（花時地）

0329

新 慶 核

供覽

佐鎮第一三〇號七

大正二年五月二十二日

佐世保鎮守府司令長官島村速

海軍大臣男爵齋藤 實殿

佐世保鎮守府司令長官印

標的船三隻回航終了ノ件

大正元年十二月廿七日官房第一五二一號ヲ以テ標須賀海軍

港務部附屬ヨリ佐世保海軍港務部附屬ト改メラル公稱第

一九九三號圖第一九九四號及同第一九九六號ノ標的船三隻ノ本

部長ヨリ以テ總テ當地ニ回航ヲ了セリ

右報告

兼計課

會計課

濟

第一班

海

軍令部

(終)

軍令部接受

2六月五日

五月廿五日 警務課

教育本部 接受

2六月三日 軍務局接受

練本

0330

田原

水戸
三
似
履



起案紙第一號

大正二年六月十九日
起案者 捺印 野村
六月九日 發行 捺印
發行後起案者 捺印

提按 艦政本部長 (金子)
第三部長 (福田)
部員 (猪俣)

大臣 豊 (野村)
副官 (藤)

次官 (藤) 參事官
會計課長 (堀)

軍務局長 (野間)
部員 (真) (田)

電報提按

大正二年六月十九日 大臣

栗鎮司令長官 各通
横鎮司令長官

發送番號

每頁

0332

後本
件
同
日

頁				
---	--	--	--	--

19

部員

發付後起
案者捺印

加藤 一

猪俣 山

0332 水

本件附屬替連案
後、回覧又

醸造部第三部

0333

海軍

吳海兵團附屬汽船初加勢ヲ横須賀海
兵團附屬ニ改ム
右訓令々々

0334

供覽

軍務局長



局員



田代

吉澤

五月十八日 起案
五月十九日 發電濟
午九時五分

電報

軍務局長

吳鎮華謀を宛

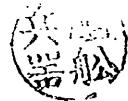
初加勢ハ一の成早ク貴府ノ手ヲテ控以賀之向航ノ
上引候ヲナラ様存計ニ成又其ノ行動豫定
出番以牙至急ニ通知アリテシ

案内ニテテテテ

海軍

仲

0335



第一八七號二

(お尋ねつき)

大正五年九月廿日 交付

野間海軍省軍務局長

上村按に賀鎮守府参謀長殿

汽船初加勢之関る件

今般費二府海兵委ニ付属撫トナリタリ汽船初加勢
 ハ兵鎮守府ノ方ニテ貴地ニ回航ス様申達置候
 付右様兼知相成候ニ本般授受結了上ハ船内
 外部トモ充分ニ掃除及消毒ヲモレ何時ニモは官用
 之供糧ノ様至急俾傍方取計取置候
 右申達ス

終

種時納

海軍



件 0336

軍第一八七號

軍務局長



局員



田代

海

軍

大正

六月十八日 起
月十八日 發付済



海軍省軍務局

海軍艦政本部 出下

汽船初加勢 附屬 換件

空海兵装 附屬 汽船初加勢 今般 出 召 用 ト シ テ
指 引 賀 方 面 之 陣 備 之 盡 一 必 要 有 之 備 存 右 換
件 賀 海 兵 装 之 轉 屬 方 大 多 急 出 計 之 博 存
右 照 會 々

終

花崎納

0337

第

係

初回航行記

三年六月十日



・乗員

坊輝官

大尉

一

乗組

上等兵

上等兵

兵

水兵

梅園

梅園

0338

三、 観海亭

横濱 一 下田 一 鳥羽 (石巻の七塔蔵)

古知 一 津市 一 知多郡

神戸 (石巻の七塔蔵) 一 多気津

糸崎 一 岩手 (九日間)

三、 室津船場

四月八、七日横濱 一 名古屋 (十日間)

0339

只、初加勢、西の国

全長 百九分

陽 十の分

吃水 五郎五分 陽部五分

排水量 百一噸

速力 十一節

積炭量 六噸

0340

電報着信紙

局着		局發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午後	第	報
云々	午後三時五分	午後二時五分	午後二時五分	一	報
		指		名氏所居人信發	
六月廿		ハツカセニルヒユツ		第壹號	
予定		ユウセツキニヒヨクス		印附日信着	
是鏡長		カヤナノヨク		2. 六月廿日	
七月廿		カヤナノヨク		電務局	
和加勢二十		カヤナノヨク			
出流		カヤナノヨク			
若		カヤナノヨク			

0341

電報 報 着 信 紙

軍務局

電

局	着	局	發	名氏所居人信受	
取報者 軍司令部	受信 付午後 0時 分	付午前 11時 分 大員 局員 日	第 報局 號	ト ウ ク ノ イ レ イ	

指 定

ハ
ラ
ハ
ヨ
コ
ス
カ
ニ
ム
ケ

田

初加納カ横須賀ニ
呈
呈
呈

六月廿五
呈
呈
呈

番着信 號	數紙	名氏所居人信發
五	第 十 二 號	ノ ノ
印附日信着		
軍務局接受		

0342



陸

一〇〇二ノ五

大正二年六月二十日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣 齋藤實

同員 雜役船初加勢回航ノ件

海軍大臣 齋藤實 附第三艦隊 新當雜役船初加勢 掃頭 賀海兵團 團長 謝安原武雄 指揮官トシテ 回航引渡 手ナサレムベク 條回航行動豫定表 相添 右報告ス

追テ 諸準備ノ都合ニ依リ 未六月二十六日迄

人事局

海軍部



三月廿五日 音房接



大正二年六月二十日

0343

出版センター 豫定

添

送

送

0344

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

追 テ 天 候 都 令 依 變 更 ス ル コ ト ア ル ニ	地	号	小	由	大	鳥	館	横
	名		豆	良				總
	初 加 勢 廻 航 予 定 表	着	島	内	島	羽	山	突
			弟	弟	弟	弟	弟	弟
		一	二	三	四	五	七	
		日	日	日	日	日	日	
試 運 轉 後 出 港	発	弟	弟	弟	弟	弟		
		一	二	三	四	五	六	
	日	日	日	日	日	日		
註 事		罐	罐	罐	罐	罐	罐	
		水	水	水	水	水	水	
		補	補	補	補	補	補	
		充	充	充	充	充	充	

海
軍

雜役船初加執面航指揮官附

海軍中尉

海軍一等機関兵曹

海軍一等兵曹

二等兵曹

二等機関兵曹

二等機関兵曹

三等尉宰

一等水兵

二等水兵

二等水兵

二等水兵

安原武雄
瑛自健介

福田閑之助

柳井繁治

福田未藏

加藤貞次

竹村國豊

西村又次郎

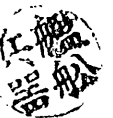
藏屋刃三

浜口重吉

影山薰

綾田百次

2. 3. 11. 15.
軍務局接受



0346

紙用箋付府守鎮吳

五書五本 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

武雄 健介 開之助 繁治 未藏 貞次 國豐 又次郎 重吉 百次

2. ヲ片五
軍務局接受



0346

吳鎮守府付箋用紙

六月二十日
軍務局 吳鎮守府 局員 功名
海軍省 功名
本紙。本送付時、吳鎮守府一〇五
五難後船初初替回記付難者
本海行支取紙
右依紙
添付
濟

0347

合	合	合	合	合	合	合	合	合	海軍二等水兵	浦 洋
〃	〃	〃	三等機関兵	〃	〃	一等機関兵	〃	三等水兵	坂本徳助	
山本喜道	寺口勝太郎	三井昇一	大下藤兵衛	門田喜助	佐々木兵次郎	木村周市	白井宰一	高村光治		

(経)

0348

覽
上
母

軍務局

人事局

一〇〇二 一四

大正二年 七月二十一日

吳鎮守府司令長官加藤友三郎

海軍大臣男齋藤實毅

官員

初加勢回航指揮室變更、件

本日午日附吳鎮守一〇〇二號、五雜役船初加勢
回航、件報告中、若海兵團海軍大尉安原武雄
ヲ「伊吹艦海長心得海軍少佐十川長吉」に改ム
右報告ス

印

海軍



0349



紙用記筆話電府守鎮賀須



南



軍令部

局員



大正元年七月

日午後三時五分受

海軍省

初加勢子午後三時五分受事安着

0350



起案單紙第一號

明治二十二年六月十九日起案

起案書
捺印

鐵道部
捺印

六月十九日發付
鐵道部
捺印

發付後
捺印

2. 六月十日
軍務局接受

鐵道部
捺印

鐵道部

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

大臣

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

次官

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

副官

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

軍務局長

鐵道部
捺印

局員

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

電核案

大正二十二年六月十九日

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

鐵道部
捺印

發送
番號

發送
番號

0351

5-18

鐵道部
捺印

								吳海國對海 船助勢 加 洲
--	--	--	--	--	--	--	--	------------------------

0352

起案第一號

明治二十九年五月廿四日起案
六月六日發行

陸政本部長

大臣

次官

副官

參事官

軍務局長

經理局長

大正二年六月六日

海軍大臣
長官
次官

發送
官房第一六〇三號

所屬簿濟
原簿濟

田原

會
6・2

發行後起
案者發印

第三部長

第二部長

會計課長

部員

名越

勝

2. 六月三日
軍務局接受

0353

雜役船附所換一箇之件
 青龍返津路船部附所之稱おたる十九号、
 舟加る二十号及舟加る二十号一舟添受船ノ
 横濱船部附所、改メ
 左列合ス

船

0354

艦政本部長

第三部

會計課

電第一二六號ノ四

大正二年五月三十日

海軍艦政本部

海軍省軍務局

途中

泥受船轉籍ノ件

横須賀方面ニ於ケル浚渫作業上必要有之候
條左記舞鶴港務部附属泥受船三隻ヲ横
須賀港務部ニ轉属方テ取計ヲ得度

右照會ス

迨テ本件舞鶴鎮守府総謀長ヨリハ善文也



0355

之旨回答ヲ得居候ニ付申
係候

公称第九一九號

公称第九二〇號

公称第九二一號

計三隻

(供)

笑野納

0356

0357

紙 罫 案 共

六月三日
六月七日
六月十日
六月十三日
六月十六日
六月十九日
六月廿二日
六月廿五日
六月廿八日
七月一日

大臣 陸

大官 陸

副官 陸

陸

陸

陸

人事局長 陸

經理局長 陸

財政部長 陸

第二部長 陸

會計課 陸

第一班 陸

第二班 陸

大五

大正三年六月

軍令部長

次長

横領了長友

工部局 那美丸任務三箇之件

工部局 那美丸任務三箇之件
訓令七ノ先島群島及其港

軍令	水路	陸建	教育	財政	陸	經理	人事	官房	陸
5/6						教地	チ、三、ウ、カ		

實房接

方面に於て測量終了の上引續き朝鮮解南岸の測量に於て測量事業に關する水野部長の指示を受けしこと

右訓令
逕に本件關於同船の行動海軍に報告せしむ

大正二年六月七日

大臣

水野部長 佐々木少将
馬場少将 朝野少将
工部省 東丸 佐野少将
本件關於同船の行動海軍に報告せしむ

右訓令

軍第一〇七號

陸軍省

第六九號

大正二年六月二日

井内水陸部測量科長

百武軍務局長負殿

二二四

藤田

關東九朝鮮方面ニ派遣ノ件

關東九臺灣方面ノ測量事業ニ結次茂朝鮮方面ニ派遣ニ濟州島附近ノ測量ニ從事スル様

取計相成度

右照會ス

一〇七

海軍

0359

南西
馬車
公
休

長
藤田
 朝鮮
 元様

軍
 第...
 第...

0359

南西...
 馬...
 各...
 各...

軍務局

0360